

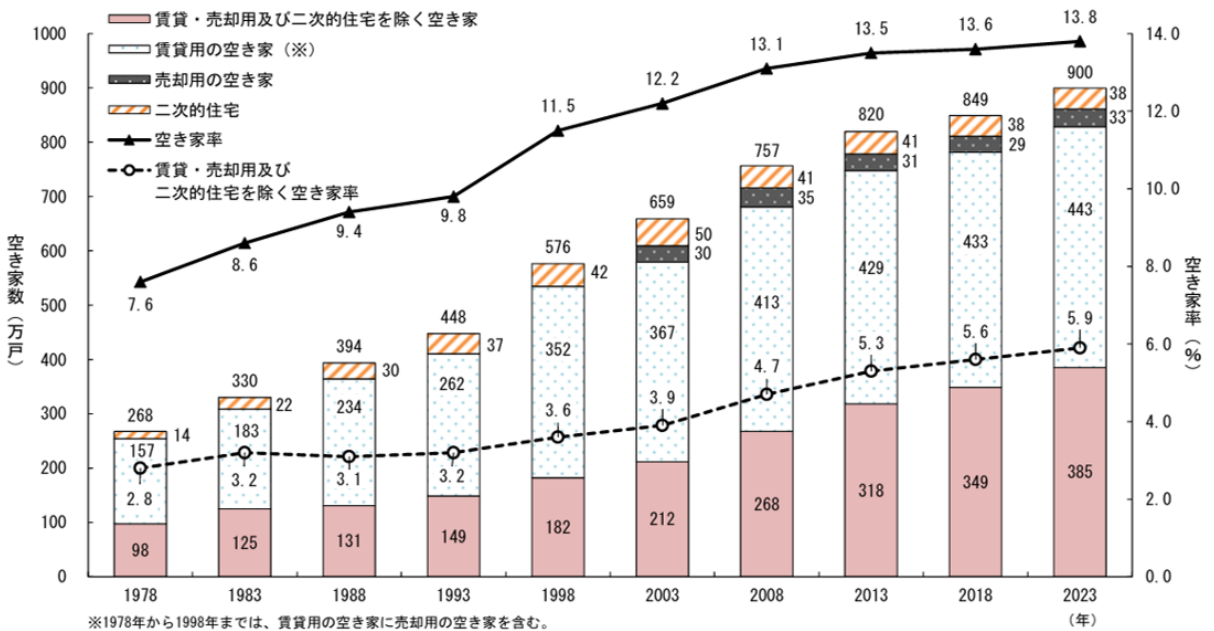
大分県の空き家数は11万5千戸、県内19.1%が空き家。

総務省「住宅・土地統計調査」（2023年10月調査）が発表されました。

5年前（2018年）の前回調査の全国の空き家総数（849万戸）から、51万戸増加して、900万戸を超えた。総住宅数に占める空き家数の割合は、0.2ポイント増えて13.8%に。

今までは「その他の住宅」と分類されていた項目が今回から、「賃貸・売却用及び二次的住宅を除く空き家」と名称変更され、全国では385万戸で総住宅戸数に占める割合は5.9%（前回347万戸）。

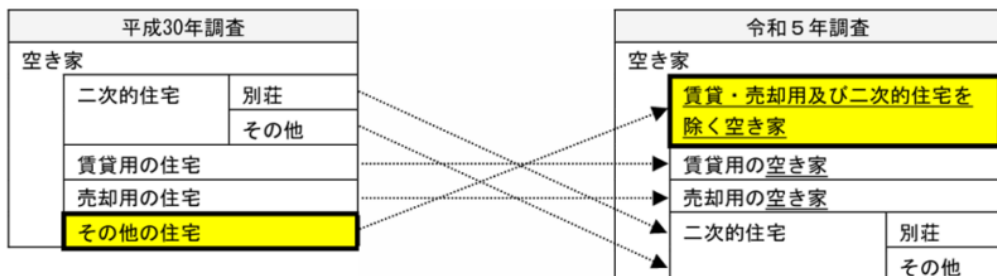
図2 空き家数及び空き家率の推移—全国（1978年～2023年）



○空き家の種類と説明

空き家の種類		説明
空き家	賃貸・売却用及び二次的住宅を除く空き家	賃貸用の空き家、売却用の空き家及び二次的住宅以外の人が住んでいない住宅で、例えば、転勤・入院などのため居住世帯が長期にわたって不在の住宅や建て替えなどのために取り壊すことになっている住宅など (注：空き家の種類の判断が困難な住宅を含む。)
	賃貸用の空き家	新築・中古を問わず、賃貸のために空き家になっている住宅
	売却用の空き家	新築・中古を問わず、売却のために空き家になっている住宅
	二次的住宅	別荘 週末や休暇時に避暑・避寒・保養などの目的で使用される住宅で、ふだんは人が住んでいない住宅 その他 ふだん住んでいる住宅とは別に、残業で遅くなったときに寝泊まりするなど、たまに寝泊まりしている人がいる住宅

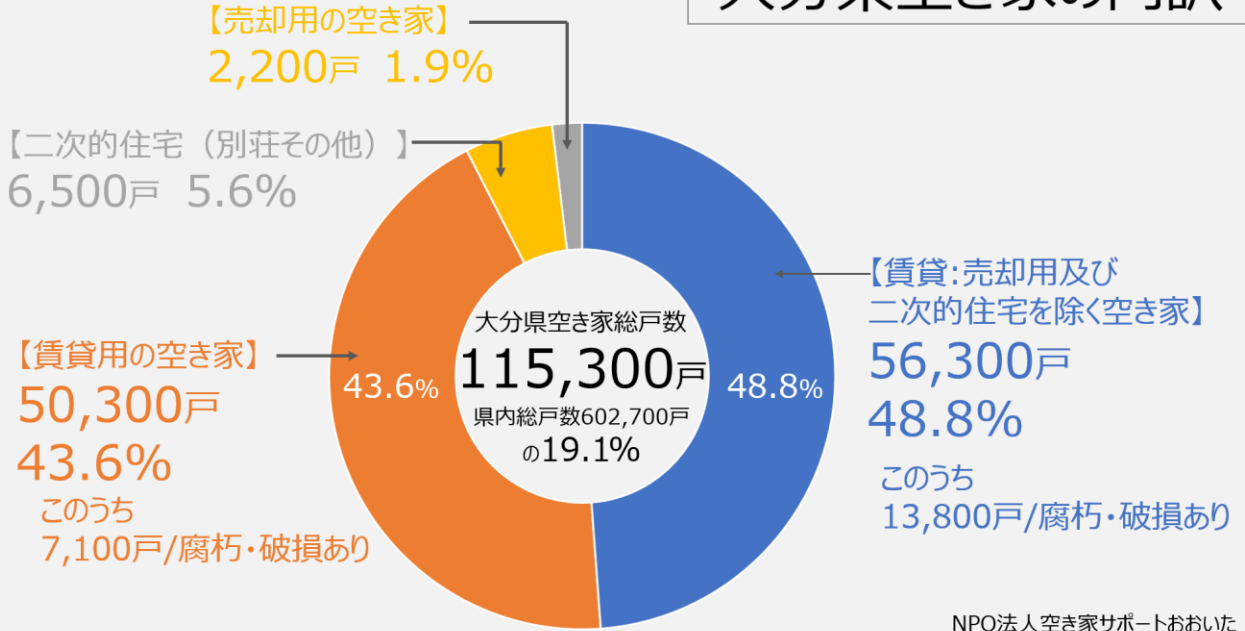
なお、今回の調査結果では、空き家の種類について以下のとおり名称及び表記順の整理を行った。



大分県の「賃貸・売却用及び二次的住宅を除く空き家」は、56,300戸（前回48,700戸から7,600戸増）。今回の調査から加わった「腐朽・破損あり」の空き家は県全体で21,600戸、「賃貸・売却用及び二次的住宅を除く空き家」では13,800戸。

総務省/令和5年住宅・土地統計調査

大分県空き家の内訳



大分県内の住宅総戸数は602,700戸（2018年583,000戸、19,700戸増）。

このうち空き家の総数は115,300戸で、2018年から17,600戸増加。総戸数に占める割合は19.1%（前回16.65%）。全国平均13.8%より5.3ポイント高く全国9位、九州内では鹿児島県の20.4%に次いで2番目の高さ。